

授業科目 臨床検査総論実習 II

【担当教員名】 長濱 大輔		対象学年	2	対象学科	臨床
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	45
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○			
【概要・一般目標：GI0】 実習を通じて、腎・尿路系疾患、消化管出血、脳脊髄疾患などにおける一般臨床検査の役割を把握する。その際、基本的な技術習得と同時に検査データを評価する力を養う。					
【学習目標・行動目標：SB0】					
<ol style="list-style-type: none"> 尿沈渣検査の実際を確実に体得する。 各種の尿沈渣成分を注意深く観察し、その臨床的意義について説明ができる。 便潜血検査と虫卵検査について説明できる。 脳脊髄液検査方法の実際を体験し、基準範囲の把握と臨床的意義について説明ができる。 食物残渣の観察および他の体内成分の検査について学ぶ。 一般検査データの評価と診断について学ぶ。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1.2	尿沈渣における生物顕微鏡の構造と使用方法、境検の仕方、記載方法			1	実習
3.4	尿沈渣成分の観察：赤血球、白血球			2	実習
5.6	尿沈渣成分の観察：上皮細胞、円柱			2	実習
7.8	尿沈渣成分の観察：結晶、細菌、酵母様真菌など			2	実習
9.10	尿沈渣成分のスライド観察			2	実習
11.12	糞便潜血反応検査と虫卵検査			3	実習
13.14	脳脊髄液検査（性状、グロブリン反応、細胞数）			4	実習
15.16	脳脊髄液のタンパク定量検査			4	実習
17.18	食物残渣の臨床的意義と便中食物残渣の観察（胃液・十二指腸液・喀痰）			5	実習
19.20	尿沈渣を中心とした体液成分のスライド観察			1-5	実習
21.22	一般臨床検査結果の評価（症例検討会）			6	実習
23	実技試験			1-6	実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床検査学講座 臨床検査総論 第3版	三村 邦裕、鈴木 敏 恵、宿谷 賢一 他	医歯薬出版株式会社	2014・3,200円
参考書		尿沈渣 第5版 標準臨床検査学 臨床検査総論 尿沈渣アトラス	長濱 大輔 伊藤機一、松尾収二 伊藤 機一	文光堂 (株)医学書院 シスメックス株式会社	1997・4,000円 2013・3,000円 2014・0円
その他の資料					
【評価方法】 定期試験(90%) レポート(10%)		【履修上の留意点】 一般臨床検査に関する基本的な技術を習得するので、できるまで繰り返し行うこと。			